

## サントリーホールの歩み[1986～2015]

		公演関係トピックス	その他のトピックス
1986年	10月	サントリーホール開館(12日) オープニングシリーズとして、1987年3月まで79公演開催。 小澤征爾指揮ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団公演、 アイザック・スターンと仲間達、 シノーポリ指揮フィルハーモニア管弦楽団公演(演奏会形式「蝶々夫人」、 アバド指揮ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団公演、 国際作曲委嘱シリーズ、内田光子モーツァルトピアノ協奏曲全曲演奏会等。	初代館長 佐治敬三就任(～1999年11月)
1987年	5月	サントリーホール定期演奏会としてNHK交響楽団シリーズ開始。「オルガンレクチャーシリーズ」開始。	
	9月		サントリーホールメンバーズ・クラブ発足。
	10月		メンバーズ・クラブ会報誌「MUSE」創刊(2011年休刊)。
1988年	1月	「ニューイヤー・コンサート」開始。	
	5月	カラヤン指揮ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団公演。 カラヤンから「まるで音の宝宝箱のようだ」とのコメント。	
	10月	「若杉弘ノ都響マーラーシリーズ」開始。(～1991年5月)	
1989年	1月	「オペラ・コンサートシリーズ」開始。第1回は「椿姫」、演奏会形式。	
	6月	新星日本交響楽団(現・東京フィルハーモニー交響楽団)定期演奏会開始。	
	7月	「ニューアーティスト・シリーズ」開始。(～2002年12月 75回開催)	
	9月	日本フィルハーモニー交響楽団定期演奏会開始。	
	11月	東京都交響楽団定期演奏会開始。	
1990年	5月	「こどもの日コンサート」開始。(～2008年)	
	7月	バーンスタイン指揮ロンドン交響楽団公演、バーンスタイン最後の来日公演となる。	
	10月	読売日本交響楽団定期演奏会開始。	シヨパン・コンクールへ「サントリー賞」贈呈。
1991年	3月	3週間にわたる「ザルツブルグ・モーツァルト音楽祭」をTBSと共催。	
	7月		開館以来の来場者数300万人突破。
	10月	開館5周年を記念して、「フェスティバル・ソロイスト」結成。 屋間の無料コンサート「オルガン ブロムナード コン서트」開始。 オランダ女王陛下主催ロイヤル・アムステルダム・コンセルトヘボウ管弦楽団公演。	
1992年	4月	東京交響楽団定期演奏会開始。	
	5月	「若杉弘ノ都響ワーグナー・シリーズ」開始。(～1994年7月)	
	12月	「ジルヴェスター・コンサート」開始。	
1993年	3月	ホール・オペラ®第一作「ラ・ボエーム」公演。	オペラ公演と同時に若手育成を目指す「オペラ・アカデミー」開始。
1994年	7月		開館以来の来場者数500万人突破。
	11月		サントリー(株)がサントリーホールの運営と活動で「メセナ大賞」を受賞。
1995年	2月	日本伝統的音楽のタベ「和の響」開催。(～2000年1月)	
1996年	1月	「若杉弘 & NHK交響楽団ブルックナー・シリーズ」開始。(～1998年3月)	
	4月	「朝比奈隆 プラムス・テクルス」開催。(6月まで)	
	5月	サヴァリッシュ指揮フィラデルフィア管弦楽団「ベートーヴェン・フェスティバル」開催。	
	6月	学校単位での鑑賞コンサート「サントリーホールで音楽しよう」開始。(～2008年)	
	10月	サントリーホール10周年記念フェスティバルを1ヶ月にわたって開催。 サントリーホール デビューコンサート「レインボウ21」開始。	
1997年	1月	ヘルマン・プライによる「シューベルティアード」開催。	ホームページ開設。
	6月		初代館長佐治敬三が「渡邊暁雄音楽基金・特別賞」を受賞。
	7月		10年経過後の保守点検のため約1ヶ月間閉館。
	9月	「朝比奈隆ノ新日本フィル ベートーヴェン・テクルス」開始。(～1998年6月まで)	地下鉄銀座線・南北線「溜池山王駅」開設。
	10月		サントリーホール音響設計で(株)永田音響設計に日本音響学会技術開発賞。
1998年	4月		アーケ・カラヤン広場命名式。ウィーン・フィルメンバーら参加。
	9月	NHK交響楽団定期演奏会(Bプロ)開始。	
	10月		佐治敬三がNHK交響楽団より「第18回有馬賞」受賞。
1999年	3月	「ウィーン・フィルハーモニー ウィーク イン ジャパン1999-2001」開始。	ウィーン・フィルオリジナルグッズ、ギフトショップにて販売開始。
	5月		携帯電話・PHS等の受発信防止装置導入。
	6月	「サントリーホールのマスタークラス」開始。	開館以来の来場者数800万人突破。
	11月		佐治敬三逝去(3日)。

		公演関係トピックス	その他のトピックス
2000年	2月	朗読劇「Reading Session in Suntory Hall」開始。(～2002年2月)	<p>2代目館長 鳥井信一郎就任(～2001年12月)</p> <p>地下鉄南北線「六本木一丁目駅」開設。 ウィーン・フィルによる「追悼 佐治敬三の会」開催(18日)。</p> <p>3代目館長 佐治信忠就任(～2007年8月)</p> <p>開館以来の来場者数1,000万人突破。</p> <p>ホール全館禁煙に。 「バックステージツアー」開始。</p> <p>小中学生を招待する「佐治敬三 ジュニアプログラムシート」開始。 同時に教育的プログラムを「サントリーホール エデュケーション・プログラム」の名称で統一。</p> <p>サービス向上を図りチケットセンターをびあ(株)に運営移管。 開館以来の来場者数1,200万人突破。 カーネギーホールとエデュケーション・プログラムで国際交流の提携。</p> <p>ウィーン楽友協会と双方の音楽文化発展のため提携。</p> <p>全館改修工事のため約5ヶ月間(4～8月)閉館。</p> <p>リニューアルオープン。4代目館長 堤剛就任。 小ホールを「ブルーローズ」と命名。</p> <p>サントリーホール20周年記念誌を発刊。</p> <p>公益財団法人サントリー芸術財団設立 (サントリー音楽財団はサントリー芸術財団に移行)。 館長 堤剛、「紫綬褒章」受章</p> <p>大ホールでアメリカ合衆国オバマ大統領演説。 エデュケーション・プログラムを、「Enjoy! Music プログラム」に名称変更。 パイプ・オルゴールのファンファーレを一般募集し選曲。(2011年1月より演奏開始)</p> <p>開館以来の来場者数1,500万人突破。 公益財団法人サントリー芸術財団の傘下に、より公益性を目指す。 フリーペーパー情報誌「Enjoy!サントリーホール」創刊。</p> <p>開館以来の来場者数1,600万人突破。 館長 堤剛、「文化功労者」に選出。</p> <p>天井耐震化工事実施、国土交通大臣天井認定 国内第1号取得。 開館以来の来場者数1,700万人突破。</p>
	3月	「サントリーホール BACH 2000」開催。(11回公演で12月まで)	
	7月	「それいけ!オルガン探検隊」開始。	
	9月		
	11月		
2001年	4月	「サントリーホール土曜サロン」開始。2008年よりブルーローズサロンとして開催。 (～2010年6月)	
		「東京交響楽団 & サントリーホール こども定期演奏会」開始。	
2002年	1月		
	10月	タン・ドゥンに作曲委嘱したホール・オペラ@「TEA」を世界初演。	
2003年	1月	ホール・オペラ@「TEA」アムステルダム公演で世界へ発信。	
	2月	新日本フィルハーモニー交響楽団定期演奏会開始。	
	4月		
	5月		
	11月	「ウィーン・フィルハーモニー ウィーク イン ジャパン2003-2006」開始。	
2004年	4月	ホール・オペラ@「トスカ」で、「ブッチェニ・フェスタ2004-2006」開始。	
	11月	ゲルギエフ、ウィーン・フィル提唱による「オセチアチャリティコンサート」に協力。	
2005年	3月	「パッパ幻の『結婚カンタータ』復元コンサート」開催。	
	4月	無料イベント「オープンハウス～サントリーホールで遊ぼう!」開始。	
2006年	6月		
	9月	サントリーホール20周年記念フェスティバルを2ヶ月にわたって開催。	
	10月	サントリーホール20周年記念ガラ・コンサート「THE GREAT 3 TENORS of Suntory Hall」開催。「ルツェルン・フェスティバル・イン東京」開催。	
2007年	4月		
	5月	アークカラヤン広場で無料イベント「こども音楽ひろば」開催。	
	9月		
	11月	リニューアル記念としてティレマン指揮ミュンヘン・フィルハーモニー管弦楽団開催。	
	12月	「サントリー1万人の第九」第25回記念「サントリーホールの第九」開催。	
2008年	3月	ホール・オペラ@「フィガロの結婚」で、「モーツァルト&ダ・ポンテ三部作2008-2010」開始。	
	4月	カーネギーホールとの提携プログラム「カーネギーキッズ at サントリーホール」開始。	
	6月	「レインボウ21 インターナショナル」開始。	
	9月	「ウィーン・フィルハーモニーウィーク イン ジャパン2008-2011」開始。	
2009年	8月	サントリー音楽財団(現・サントリー芸術財団)創設40周年特別演奏会として「グルッペン」上演。	
	9月	「サントリーホール&ウィーン・フィルの青少年プログラム」開始。	
	10月	カーネギーホールとの提携プログラム「プロフェッショナル・トレーニング・ワークショップ」開催。	
	11月		
2010年	2月		
	8月	芥川作曲賞創設20周年記念 ガラ・コンサート開催。	
	10月	「室内楽アカデミー」開講。	
2011年	6月	室内楽の祭典「チェンバーミュージック・ガーデン」開催。	
	9月	世界の一流演奏家が集う「サントリーホール フェスティバル」立ち上げ、開催。 「オペラ・アカデミー」エグゼクティブ・ファカルティにジュゼッペ・サツパティエニ、新体制へ。	
	12月		
2012年	4月		
	8月	被災地の高校吹奏楽部生による「みちのくウインドオーケストラ」開始。 「ウィーン・フィル&サントリー音楽復興基金」設立、事業開始。こどもたちのためのコンサート宮城県で開催。	
	11月		
2013年	4月	「ウィーン・フィル&サントリー音楽復興基金」助成事業開始。	
	9月		
	11月		
2014年	5月	芸術体験プログラム「港区&サントリーホール Enjoy! Musicプロジェクト」(小学4年生対象)スタート。	
	11月	洋楽、邦楽、歌舞伎、舞踊—時代・ジャンル・様式を越えた新たな舞台作品「卑弥呼」世界初演。(札幌コンサートホール、福岡シンフォニーホール、3館共同制作)	
2015年	4月		
	5月	平日マチネ公演「日本フィル&サントリーホール とっておきアフタヌーン」開催。	